



RenameKing

ユーザーマニュアル

バージョン 1.0 / © 2026 Malcon

目次

1. はじめに
2. 画面の見かた
3. 基本の使い方
4. リネーム：定型メニュー
5. リネーム：高度なリネーム
6. 置換で使える表現
7. 連番・グループ・振り分け
8. タグ・リネーム
9. 属性（日時・ロックなど）
10. 連番オブジェクト
11. 実行する動作と重複時の処理
12. 元に戻る
13. 設定
14. App Store 版のアクセス許可
15. キーボードショートカット
16. よくある質問
17. サポート

1. はじめに

RenameKing は、たくさんのファイルやフォルダの名前をまとめて変更する Mac 用アプリです。変更後の名前は実行前に一覧で確認できるので、安心して作業できます。

できること

- **リネーム**：連番や日付の追加、文字の削除・置換、全角/半角の変換などを、メニューから選ぶだけで行えます。ワイルドカードや正規表現を使った細かい指定もできます。
- **タグ・リネーム**：写真の撮影日時、音楽の曲名やアーティスト、文書のタイトルなど、ファイル中の情報を名前に使えます。
- **属性**：ファイルの更新日時・作成日時をまとめて変更したり、ロックや非表示の設定を変えたりできます。
- **連番オブジェクト**：「第01章」～「第12章」のような連番付きのフォルダやファイルを一度に作れます。
- **移動・コピーしながらリネーム**：名前を変えて別のフォルダへ移動・コピーしたり、日付やアルバムごとのフォルダに振り分けたりできます。
- **元に戻す**：実行した変更は元に戻せます。

動作環境

macOS 15 以降。Apple シリコン搭載 Mac・Intel 搭載 Mac の両方に対応しています。表示言語は日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ポルトガル語（ブラジル）から選べます。

2. 画面の見かた



メイン画面。左からサイドバー、ファイル一覧、設定パネル。

場所	内容
サイドバー（左）	フォルダツリーと「最近使ったフォルダ」。クリックしたフォルダの中身が一覧に表示されます。
ツールバー（上）	フォルダの指定、お気に入り、更新、元に戻す、設定パネルの表示切り替えなど。
ファイル一覧（中央）	「現在の名前」と「新しい名前」を並べて表示します。変わる部分は青色で強調されます。行頭のアイコンは状態を表します（● 変更あり、▲ 注意あり）。
ステータスバー（下）	表示中・選択中・変更される・注意がある項目の数。
設定パネル（右）	上部のタブで機能（リネーム／タグ・リネーム／属性／連番オブジェクト）を切り替え、その下で設定します。
実行ボタン（右下）	「リネーム」「設定開始」「生成開始」など、その機能を実行するボタンと「元に戻す」ボタン。

対象になるファイル

一覧で項目を選択している場合は、選択した項目だけが対象です。何も選択していない場合は、一覧に表示されているすべての項目が対象です。

3. 基本の使い方

1. **フォルダを開く**：サイドバーでフォルダをクリックします。ファイルやフォルダをウインドウや Dock のアイコンにドラッグ&ドロップしても開けます。メニューの「ファイル → フォルダ指定...」() も使えます。
2. **機能を選ぶ**：設定パネル上部のタブで「リネーム」などを選びます。
3. **設定する**：たとえば「定型メニュー」から「文字列（日時）+連番」を選び、追加文字列に「北海道旅行_」と入力します。
4. **確認する**：一覧の「新しい名前」に結果がすぐ表示されます。設定パネルの「サンプル」でも 1 件目の結果を確認できます。
5. **実行する**：右下の「リネーム」ボタン () を押します。

ヒント

一部のファイルだけ変えたいときは、一覧でそのファイルを選択してから実行します。 や  を押しながらクリックすると複数選択できます。

Finder から開く

Finder でファイルやフォルダを右クリックして「クイックアクション」または「サービス」→「RenameKingで開く」を選ぶと、そのまま RenameKing で開けます。

4. リネーム：定型メニュー

よく使うリネームがメニューにまとまっています。「モード」で定型メニューを選び、「メニュー」から項目を選ぶだけです。項目によっては追加文字列・開始番号・桁数・位置などの欄が現れます。



「文字列（日時）+連番」で、写真を「北海道旅行_001.JPG」...に変更する例。

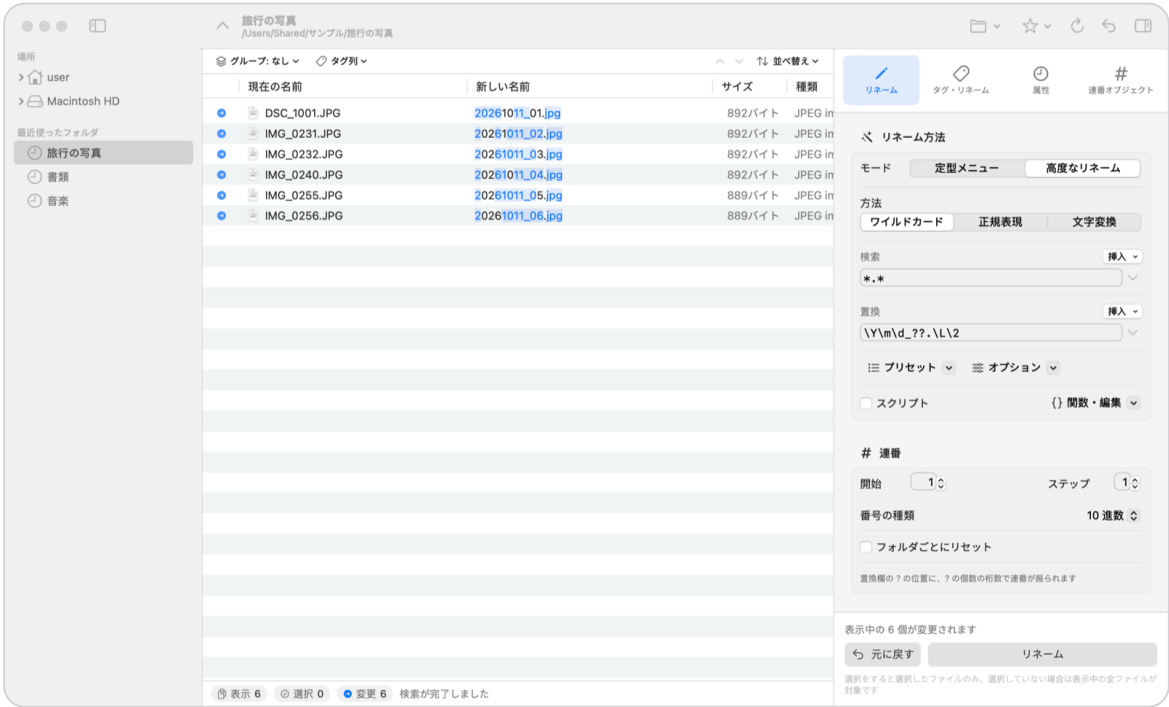
定型メニューから高度なリネームへ

「この設定で高度なリネームへ」をクリックすると、選んだメニューの中身（検索・置換の指定）を引き継いで高度なリネームに切り替わります。少しだけ手を加えたいときに便利です。

分類	主なメニュー
連番や文字列の追加	連番 + 拡張子 / 連番 + 元ファイルタイトル / 元ファイルタイトル + 連番 / 文字列（日時） + 連番 / 連番 + 文字列（日時） / 文字列を先頭（末尾）から n 文字目に追加 / 連番を先頭（末尾）に追加 / 日時 / 日時を先頭（末尾）に追加 / フォルダ名を先頭に追加 / フォルダ名 + 連番
数字や文字列の削除	先頭（末尾）から n 文字目より n 文字を削除 / n 文字目より後（前）を削除 / 「コピー」「のコピー」「のエイリアス」などを削除 / 括弧とその中身を削除 / (数字)・[数字] を削除
文字種の変換	語頭を大文字 / 大文字 ⇄ 小文字 / 半角 ⇄ 全角 / カタカナ ⇄ ひらがな / 半角かな ⇄ 全角かな / ダイアクリティカルマーク（é など）をクリア
文字列の置換	文字列置換、- の左右を入れ替え
数値の整理	先頭（末尾）から n 番目の数値の桁合わせ（例：1 → 001） / 数値を増減
拡張子の変更	拡張子を大文字 / 小文字 / 削除 / 追加 / 置換

5. リネーム：高度なリネーム

「モード」で高度なリネームを選ぶと、「検索」と「置換」の 2 つの欄で自由に名前を作れます。検索の方法は 3 種類です。



検索 *.、置換 \\Y\\m\\d_??\\.\\L\\2 で「20260928_01.jpg」...に変更する例（拡張子は小文字に）。

ワイルドカード

* は任意の文字列、 ? は任意の 1 文字です。検索でマッチした部分は、置換欄で \\1、\\2 ... として順に使えます。

検索	置換	結果の例
.	旅行_??\\.\\2	IMG_0231.JPG → 旅行_01.JPG
IMG_*.*	photo_\\1\\.\\2	IMG_0231.JPG → photo_0231.JPG
_draft.	\\1\\.\\2	議事録_draft.docx → 議事録.docx

正規表現

より細かいパターンを指定できます。（ ）で囲んだ部分が \\1、\\2 ... になります。

検索	置換	結果の例
(.*)_v(\d+)(\..*)	\1\3	report_final_v2.xlsx → report_final.xlsx
^(\d{4})(\d{2})(\d{2})	\1-\2-\3	20260812.jpg → 2026-08-12.jpg

文字変換

検索欄の文字を、置換欄の同じ位置の文字に 1 文字ずつ変換します。範囲は a-z のように書けます。

例：検索 a-z、置換 A-Z で小文字を大文字に変換。

入力を助ける機能

- **挿入**：検索欄・置換欄の右上の「挿入」から、よく使う記号や表現を選んで入力できます。
- **プリセット**：いまの検索・置換の設定に名前を付けて保存し、あとで呼び出せます。「プリセットの整理…」で並べ替えや削除ができます。
- **オプション**：大文字と小文字を区別する検索、完全一致のみ表示、タイムスタンプに更新日時・作成日時のどちらを使うかなどを設定します。
- **スクリプト**：JavaScript (JScript 互換) の関数を置換に使えます。「関数・編集」から関数の一覧の挿入や、ユーザースクリプトの編集ができます。

1 件ずつ手で直す

一覧で項目を選んで **F2** を押す（または右クリックして「名前を編集」を選ぶ）と、その項目の新しい名前を直接入力できます。手で直した名前は他の設定より優先されます。「編集 → 手動編集をすべて取り消す」で元に戻せます。

6. 置換で使える表現

置換欄（タグ・リネームの書式欄も同様）では次の表現が使えます。一覧はメニューの「ヘルプ → 置換指定のヘルプ」（）でもいつでも確認できます。

ファイル関連

\0	現在の名前（拡張子を含む）
\1 ~ \9	検索でマッチした部分
\t	現在のファイルタイトル（拡張子なし）
\e	現在の拡張子
\f	フォルダ名
\F	親フォルダ名
\P	フルパスのフォルダ名
\;	ファイルサイズ（桁区切りあり）
\:	ファイルサイズ（桁区切りなし）

番号関連

? ?? ???	連番（? の数が桁数）
*	ランダムな数字

大文字・小文字

\U ... \E	間を大文字に
\L ... \E	間を小文字に
\u / \l	次の 1 文字だけ大文字 / 小文字に
\Q ... \E	間を記号として扱う

日時関連

\Y	年（4 桁）
\y	年（2 桁）
\m	月
\d	日
\H	時（24 時間）
\I	時（12 時間）
\p	午前 / 午後
\M	分
\S	秒
\a / \A	曜日（省略名 / 正式名）
\b / \B	月名（省略名 / 正式名）
\j	年初からの日数
\#	直後の項目の先頭の 0 を省く（例： \#\m → 8）

日時はファイルの更新日時（オプションで作成日時に変更可）です。

フォルダ振り分け

/	フォルダの区切り。フォルダは自動で作られます
..	ひとつ上のフォルダ

7. 連番・グループ・振り分け

連番

置換欄の ? の位置に連番が入ります。??? なら 001, 002 ... です。「連番」欄で開始番号・ステップ（増え方）・番号の種類（10 進数 / 16 進数）を設定できます。「フォルダごとにもリセット」をオンにすると、サブフォルダが変わるたびに番号が 1 から振り直されます。

番号は一覧の並び順に振られます。一覧上部の「並べ替え」や列見出しのクリックで順番を変えてから実行してください。

グループで表示

一覧上部の「グループ」で、拡張子やフォルダなどで項目をまとめて表示できます。グループごとに連番がリセットされるので、「種類ごとに 01 から番号を振る」といった使い方ができます。

フォルダへの振り分け

置換欄に / を含めると、そのフォルダを作ってファイルを移動します。

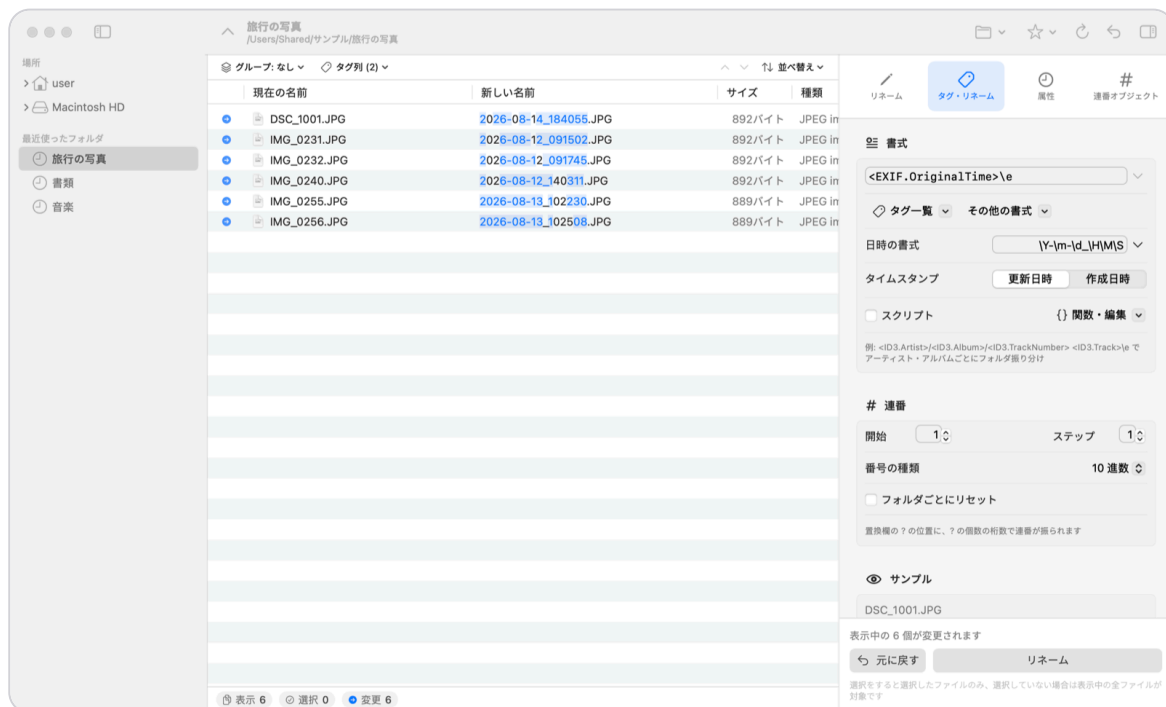
置換	動作
<code>\Y-\m/\0</code>	「2026-08」のような月ごとのフォルダを作って振り分け
<code>../\Y-\m-\d/\0</code>	ひとつ上のフォルダに日付ごとのフォルダを作って振り分け
<code>\e/\0</code>	拡張子ごとのフォルダに振り分け

ターゲット（対象の絞り込み）

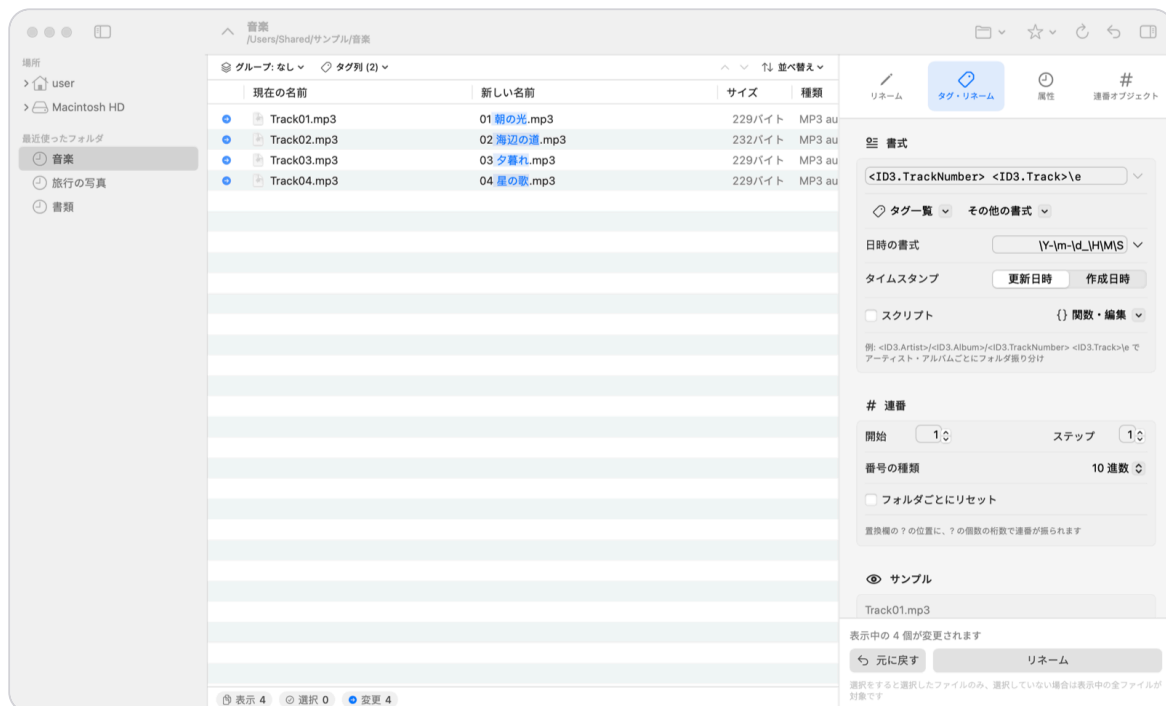
- 対象：ファイル・フォルダのどちらを対象にするか。
- フィルタ： `jpg;png;*.txt` のように、セミコロンで区切って対象を絞り込めます。
- サブフォルダ以下も対象：中のフォルダのファイルもまとめて表示・処理します。「深さ」で何階層まで見るかを指定できます（0 = 無制限）。
- システムファイル・隠しファイルを表示しない：通常はオンのままにしてください。

8. タグ・リネーム

ファイルの中に記録されている情報（タグ）を使って名前を付けます。「書式」欄に <タグ名> の形でタグを書きます。「タグ一覧」から選んで挿入できます。



書式 <EXIF.OriginalTime>\e で、写真を撮影日時の名前（2026-08-12_091502.JPG など）に変更する例。



書式 <ID3.TrackNumber> <ID3.Track>\e で、音楽ファイルを「01 朝の光.mp3」...に変更する例。

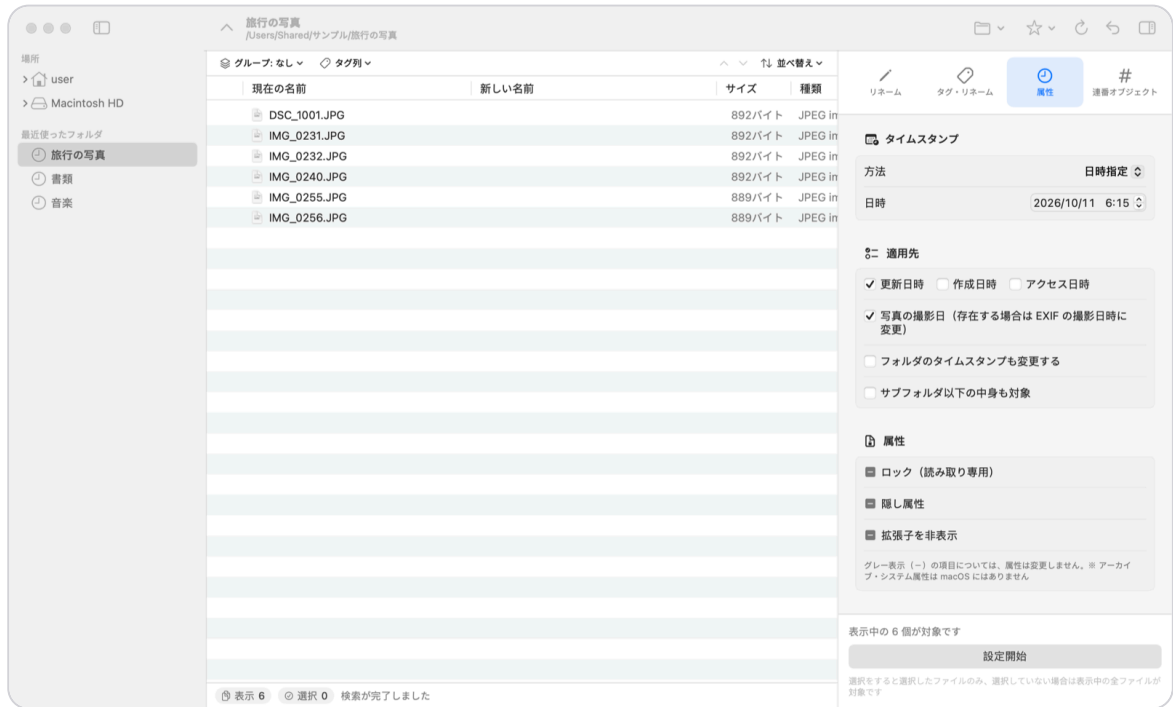
使えるタグ

分類	対象ファイル	主なタグ
ミュージック <ID3>	MP3・AAC/M4A・FLAC・ Ogg・WMA など	曲名・アーティスト・アルバム・トラック番号・年・ジャンル
写真 <EXIF>	JPEG・HEIC・TIFF・RAW など	撮影日時・カメラの機種・メーカー・画像サイズ
イメージ <IPTC>	IPTC 情報を含む画像	タイトル・キーワード・作成者
ドキュメント <DOC>	Word・Excel・PowerPoint・ PDF	タイトル・作成者・件名
Web ページ <HTML>	HTML	ページのタイトル

- **日時の書式**：日時のタグを名前にするときの形を指定します（例：\Y-\m-\d_\H\M\S）。
- **タグ列**：一覧上部の「タグ列」で、タグの値を一覧の列として表示できます。名前を付ける前の確認に便利です。
- **タグがないファイル**：使ったタグが見つからないファイルは名前が変わりません。
- **フォルダ振り分け**：<ID3.Artist>/<ID3.Album>/<ID3.TrackNumber> <ID3.Track>\e のように書くと、アーティスト・アルバムごとのフォルダに整理できます。
- タグに名前として使えない文字（ / や ； など）が含まれる場合は、設定の「無効な文字」で置き換える文字を指定できます。

9. 属性（日時・ロックなど）

ファイルやフォルダの日時と属性をまとめて変更します。実行は「設定開始」ボタンです。属性の変更は「元に戻す」の対象外なので、実行前に対象をよく確認してください。



タイムスタンプの変更方法

日時指定	指定した日時にそろえます。
シフト	今の日時を指定した分だけずらします（例：カメラの時計のずれの修正）。
ランダム生成	指定した範囲の日時をランダムに設定します。
揃える	更新日時・作成日時などのうち、どれか1つに他を合わせます。
連続生成	一覧の順に、指定した間隔ずつずらした日時を設定します。

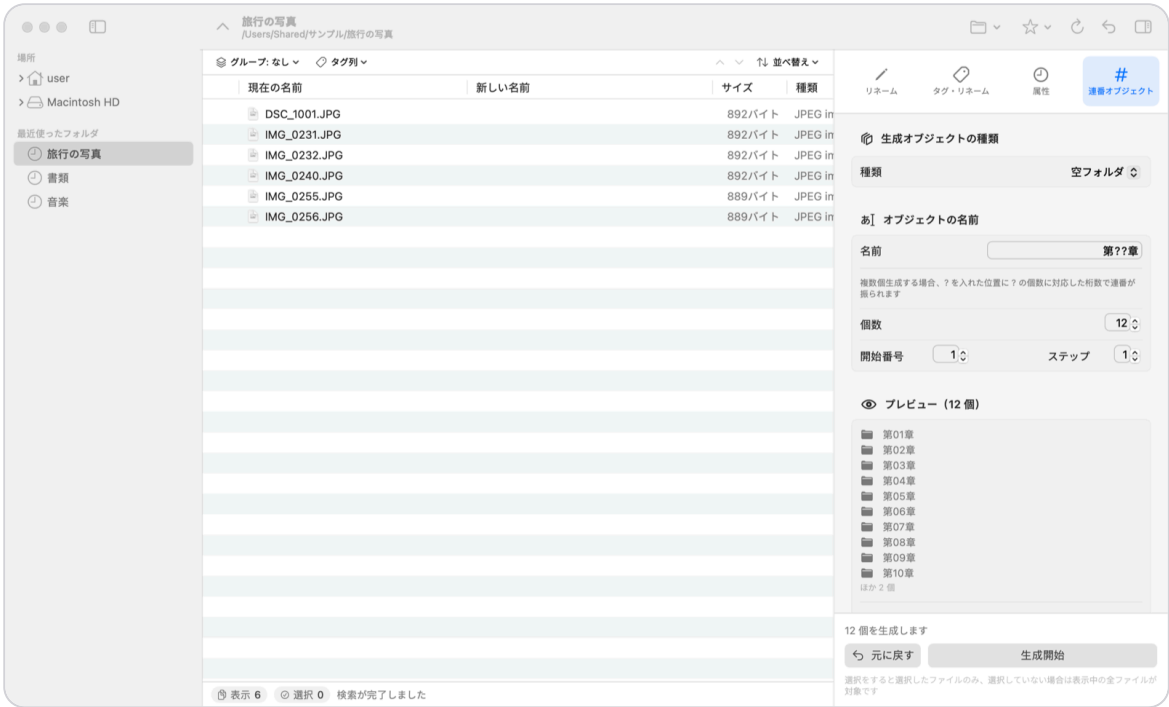
適用先で、更新日時・作成日時・アクセス日時のどれを変えるかを選びます。「写真の撮影日」をオンにすると、EXIF の撮影日時があるファイルはその日時が使われます。

属性

ロック（読み取り専用）・隠し属性・拡張子を非表示 を、オン/オフ/変更しない（グレーの「-」）から選べます。

10. 連番オブジェクト

連番付きのファイルやフォルダを新しく作ります。作成先は、いま一覧に表示しているフォルダです。



「第??章」で空フォルダを 12 個作る例。プレビューで作られる名前を確認できます。

空ファイル	指定したサイズの空のファイルを作ります。
ファイルコピー	元になるファイルを選び、その複製を作ります（テンプレートの複製に便利）。
空フォルダ	空のフォルダを作ります。
フォルダコピー	元になるフォルダを中身ごと複製します。

名前の ? の位置に、? の数の桁で連番が入ります。個数・開始番号・ステップを指定して「生成開始」を押します。

11. 実行する動作と重複時の処理

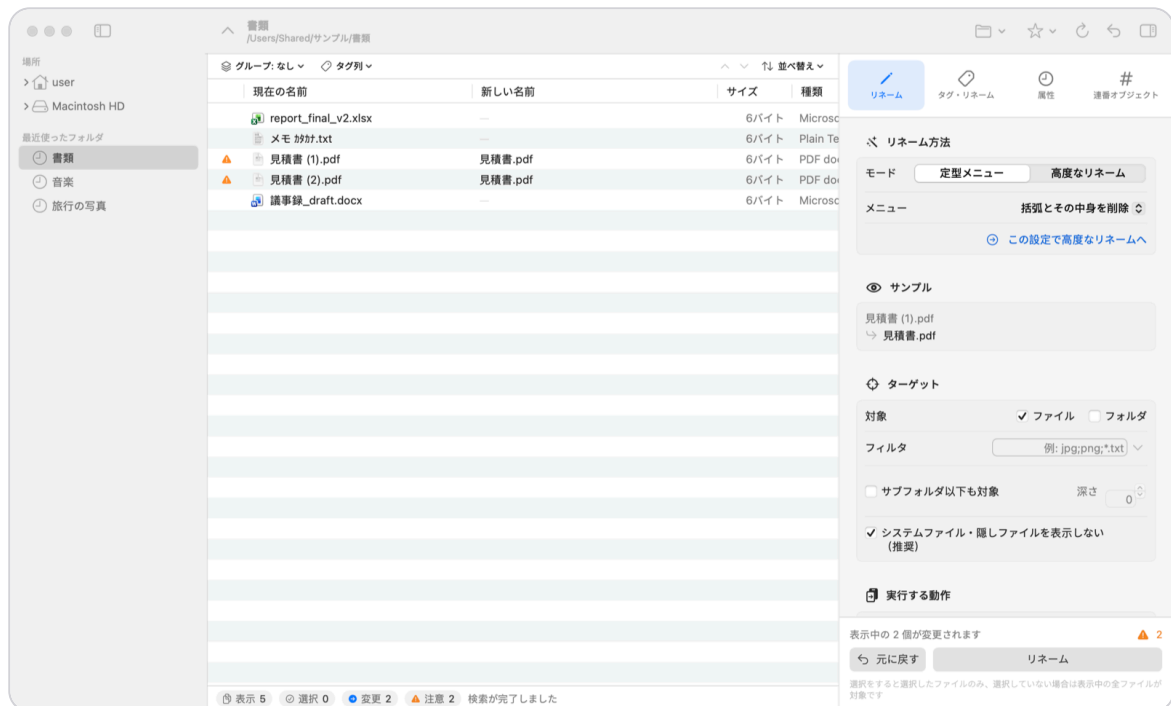
実行する動作

リネーム・タグ・リネームでは、名前を変えるだけでなく次の動作を選べます。

リネーム	その場で名前を変えます（通常はこれ）。
別フォルダに移動&リネーム	送り先フォルダへ移動しながら名前を変えます。
別フォルダにコピー&リネーム	元のファイルは残し、送り先に新しい名前でコピーします。
別フォルダにエイリアス作成&リネーム	送り先に、新しい名前のエイリアスを作ります。
別フォルダにハードリンク作成&リネーム	送り先に、新しい名前のハードリンクを作ります（同じディスク内のみ）。
ごみ箱へ移動	対象をごみ箱へ移動します。実行前に確認が表示されます。

名前が重なるとき

新しい名前が他のファイルと重なる場合、一覧のその行に ▲（注意）が表示されます。実行前に気づけるので、設定を見直してください。



「括弧とその中身を削除」で 2 つのファイルが同じ「見積書.pdf」になるため、注意が表示されている例。

そのまま実行して名前が重なった場合は、次の画面で処理を選べます（設定で「毎回選択」をオフにすると、あらかじめ決めた処理を自動で行います）。

重複ファイル名変更の確認

リネーム後のファイルは既に存在します！

フォルダ: /Users/user/書類

現在の名前: 見積書 (2).pdf

新しい名前: 見積書.pdf

処理を選択して「続行」ボタンをクリックしてください

処理

- ☐ 再試行
- ☐ スキップ
- ☐ すべてスキップ
- ☐ 上書き
- ☐ すべて上書き
- ☒ 連番を付ける
- ☐ 処理を中止し、リネーム処理開始前の状態に戻す
- ☐ 現在の状態のまま処理を中止する

続行

再試行	もう一度試します（他のアプリでファイルを動かした場合など）。
スキップ／すべてスキップ	そのファイル（以降のすべて）の名前を変えずに進みます。
上書き／すべて上書き	既にあるファイルを置き換えます。置き換えられたファイルはごみ箱へ移動されるので、「元に戻す」で復元できます。
連番を付ける	「見積書 (2).pdf」のように番号を付けて重ならないようにします。付け方は設定で変えられます。
処理を中止し、リネーム処理開始前の状態に戻す	ここまでの変更をすべて取り消して中止します。
現在の状態のまま処理を中止する	ここまでの変更は残して中止します。

12. 元に戻す

直前に実行した処理は、右下の「元に戻す」ボタン、またはメニューの「編集 → 元に戻す（リネーム）」（**⌘Z**）で元に戻せます。確認画面が表示されるので、内容を確認してから実行してください。

- 対象：リネーム・タグ・リネーム（移動・コピー・エイリアス・ハードリンク作成・フォルダ振り分け・ごみ箱へ移動・上書きを含む）と、連番オブジェクトの作成。
- 移動した項目は元の場所・元の名前に戻り、コピーや作成した項目はごみ箱へ移動されます。
- 記録は保存されるので、アプリを終了した後でも直前の処理を元に戻せます。

元に戻せないもの

- 「属性」での日時・属性の変更
- 2 回以上前の処理（元に戻せるのは直前の 1 回分です）
- 実行後に Finder や他のアプリで名前を変えたり移動したりしたファイル、ごみ箱を空にした後のファイル

13. 設定

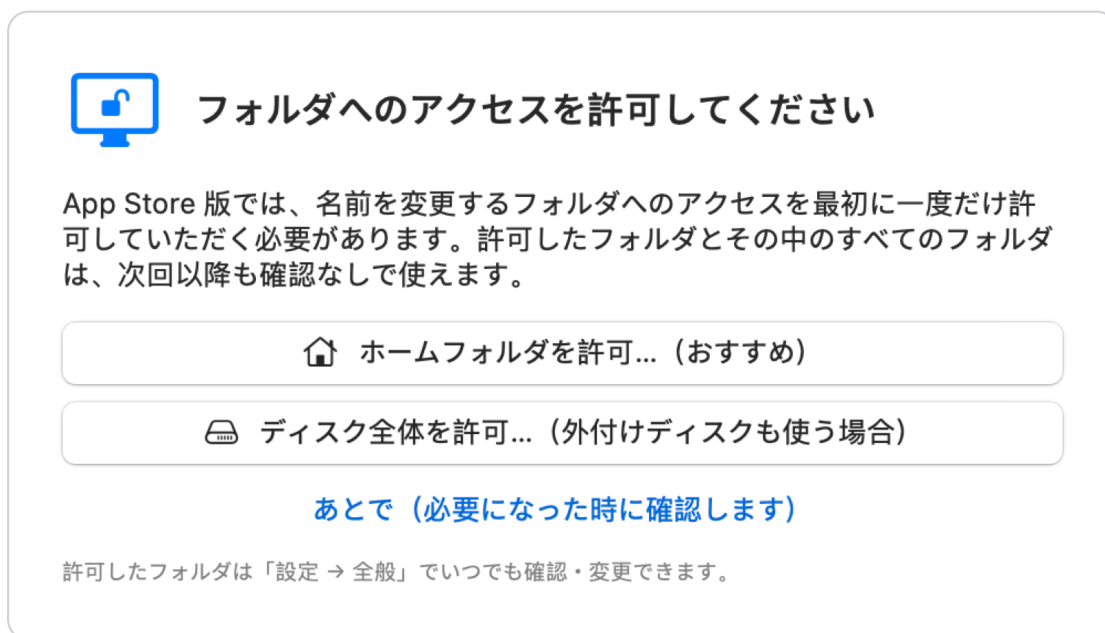
メニューの「RenameKing → 設定…」 (⌘,) で開きます。



項目	内容
言語	表示言語を切り替えます。画面はすぐに切り替わり、メニューバーの一部は次回の起動時に切り替わります。
表示設定	ツールバー・ステータスバー・フォルダツリーの表示、一覧の文字の大きさ。
Finder との連携	Finder の右クリックメニュー（サービス）への登録。表示されない場合は「サービスを再登録」を押すか、システム設定 → キーボード → キーボードショートカット → サービス で有効にします。
ファイル名重複時の処理	重なったときに毎回選ぶか、決まった処理を自動で行うか。「連番を付ける」ときの番号の形（例：(??)）と位置。
タグ・リネーム	タグの日時の書式、無効な文字の置き換え。
スクリプト	ユーザースクリプトの編集・再読み込み。
フォルダへのアクセス	App Store 版で許可したフォルダの確認・追加・削除（次章）。

14. App Store 版のアクセス許可

App Store 版の RenameKing は、Apple の安全のしくみ（サンドボックス）により、許可されたフォルダのファイルだけを変更できます。初めて起動したときに次の画面が表示されます。



1. ホームフォルダを許可... (おすすめ) を押し、表示された画面でそのまま「許可」を押します。これで書類・デスクトップなど、ホームフォルダの中はすべて確認なしで使えます。
2. 外付けディスクも使う場合はディスク全体を許可...を選びます。
3. 「あとで」を選んだ場合は、許可されていないフォルダを開いたときや実行するときに、その都度確認が表示されます。

許可したフォルダは「設定 → 全般」でいつでも確認・追加・削除できます。許可の情報は Mac の中だけに保存され、外部に送信されることはありません。

15. キーボードショートカット

キー	操作
 0	フォルダ指定...
 ⇧0	ファイル指定...
 ⇧G	フォルダへ移動...（パスを入力）
 1 ~  4	リネーム／タグ・リネーム／属性／連番オブジェクトに切り替え
 ↵	実行
 ⇧Z	元に戻す（リネーム）
F2	選択した項目の新しい名前を直接編集
 ⌘	選択した項目をリストから外す（ファイルは削除されません）
 ⇧A	リストのすべてを選択
 I	選択の切り替え（反転）
 R	一覧を更新
F5	フォルダツリーを更新
 ⇧I	設定パネルの表示／非表示
 + /  -	一覧の文字を大きく／小さく
 D	表示中のフォルダをお気に入りに追加
 ?	置換指定のヘルプ
 ,	設定

MacBook などでは  F2 ・  F5 が効かない場合は、 fn キーと一緒に押してください。

16. よくある質問

「新しい名前」が表示されない・変わらない

検索の指定が名前にマッチしていない可能性があります。定型メニューでは不要な欄が空になっていないか、高度なリネームでは検索欄のパターンを確認してください。タグ・リネームでは、そのファイルにタグが入っていないと名前は変わりません（「タグ列」で値を確認できます）。

連番の順番が思った通りにならない

連番は一覧の並び順に振られます。「並べ替え」や列見出しで順番を整えてから実行してください。グループ表示をしている場合は、グループごとに番号が振り直されます。

▲（注意）が表示される

変更後の名前が他のファイルと重なるか、名前として使えない文字が含まれています。設定を見直すか、「連番を付ける」で重ならないようにしてください。

「アクセスが許可されていません」と表示される（App Store 版）

そのフォルダへのアクセスが許可されていません。表示される画面で許可するか、「設定 → 全般」でフォルダを追加してください。

Finder の右クリックに「RenameKingで開く」が出ない

「設定 → 全般 → サービスを再登録」を押し、システム設定 → キーボード → キーボードショートカット → サービス で「RenameKingで開く」をオンにしてください。

スクリプトを使ったら反応しなくなった

ユーザースクリプトが終わらない処理（無限ループなど）になっている可能性があります。アプリを強制終了し、「ヘルプ → ユーザースクリプトを開く」でスクリプトを修正してください。

設定を初期状態に戻したい

アプリを終了してから、「ヘルプ → 設定フォルダを開く」で開くフォルダの中身を削除（ごみ箱へ移動）すると、次回起動時に初期設定に戻ります。

17. サポート

よくある質問と回答は、サポートページでご覧いただけます。

サポートページ： <https://malcon.jp/apps/renameking/support/>

Mac、macOS、Finder、App Store は Apple Inc. の商標です。